



毎月十五日発行 宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

神具、装束 結飾式場用品 本社 電話 九〇八〇 電話 九〇八〇

半分以上は、御説明を申し上げるのに、椅子からお立ちのままで、肩を丸めるまで、我々の母までお立ち寄りになり、何かとお尋ねなす。最後に御退出なるに、ご挨拶も兼ねて、宗像大社へお参り下さい。



阿蒙少言 戸畑 田中ハツセ 津 香椎 桜井 ツ子 津 藤田 藤田 藤田

宗像大社の祭祀遺跡出土品を宮中に

宗像社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

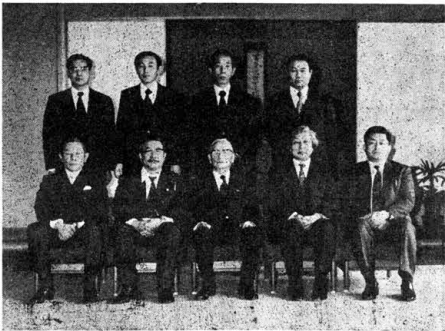
その詳細を繰返して述べるのを省く。この度、第二次学術調査によつて、予定の計画調査を完了し、出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像の秘宝 宮中にて天覧を賜はる



宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

説 青少年自殺の背後 母性愛を害するもの

青年は希望多き時代である。得業の進路、家庭の建設、趣味の向上に、華やかな夢を抱く。その夢の実現を目指して、熱心な研究に希望が燃え、然し、夢は夢で、達成不能の夢の連続、晴天は急激に曇る。結果として、絶望の淵を呼び悲願の断崖に追いつく。

必然の傾向である。父母は、親子に、死の線を自ら下す。近頃は青期に至らない中、小学生の自殺報道が、著しく増してきている。その凶悪は、まことに深刻な出来事として、背後に反響の探査に当てるべきである。

夫は病室で看護所に勤め、三娘は立派に教育を終えて、夫が就職したが、現在は看護士として働いている。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社神宮の祭祀遺跡の学術調査は、昭和十九年から三十二年にかけての第一次調査から三十二年から四十一年にかけての第二次調査を重ね、その間の出土品を調査した。

陛下が御入宮なるとは、毎度から我等三名の紹介をいたしたが、出光会長の御紹介は、多岐に亘つて宗像大社の復興にたいした努力を、おこられた御言葉が、あつた。

陛下に宗像大社を御説明申し上げるの間、会長は九十三歳の老齢であるにも拘らず、殆ど立派な御姿で、今日も宗像大社にいらして、宗像大社の復興にたいした御言葉を、おこられた。

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大社 宗像大社 宗像大社 宗像大社

宗像大杜歌会
俳句作品集(二)

福間 廣渡一寿軒
子も来たり孫も揃いて腐麻を耐み
民宿のソボン料理初を喰い
土穴 八尋 恒夫
桃咲くや笑ひ初めし児に茶室

田熊 力丸 一郎
春待てすやせり覗く寒椿

藤沢 玄洋子

田島 吉武 武雄
春浅し泉水の鯉々として



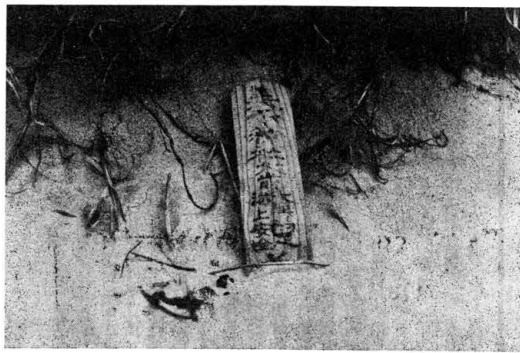
柳

ていた。裏返りにして「冠」字・奉修大柴衛護摩供大魚満定祈所、文化十四年七月廿一日」と出書された趣意であった。私が興味を持ったのは文化十四年といふ古さである。文化十四年は一八三三年、この六月にはイギリス船が長崎出島のオンタ商館襲取を策し失敗し退去する事件が起つて居る。欧州ではナポレオンがライプツィヒの戦いで敗れた年である。昭和四十九年一月、福岡市東区海の中道で天保八西春修玉鬘宗像祀最勝と出書された神札が流れ寄つたのを拾った。天保八年(一八三七)は大阪で幕府を倒壊させた大塩平八郎の乱がおこつた年である。

神札の漂着



昭和五年三月十八日、三重県鳥羽にある出雲に泊つた時、寮から海の海岸を眺めていたら、大量の漂着物が見えた。下へ降りて海岸を調べたところ、海産物漁具類にまじって、長さ七二・五センチ、幅二・五センチ、厚二・五センチの古い板が打ちあがった。



鳥羽の恐ろしい家の改築等、不用になつたもの、特に海産物漁具類は、薩摩国鳥羽島(現薩摩)へ配流されたが、康頼は千本、その半量に、禁年、月日、仮名、実名と、さまたがたまきのじまに我がりともつけあへぬのほしおおもひやれしはじおもふ旅だにもなることにはひしおおもひの首を書き海へ流した。

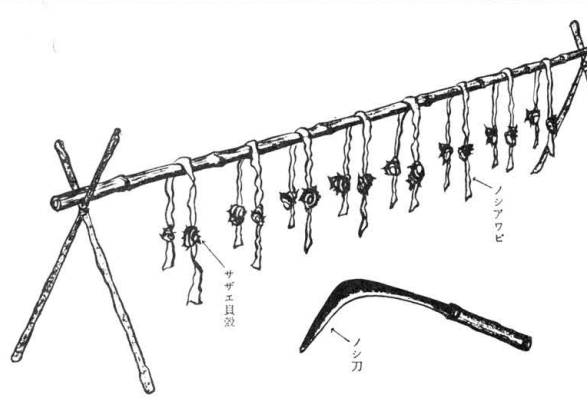
(八)

免賃、僧賈、廣成、成、平康、類類、薩摩国鳥羽島(現薩摩)へ配流されたが、康頼は千本、その半量に、禁年、月日、仮名、実名と、さまたがたまきのじまに我がりともつけあへぬのほしおおもひやれしはじおもふ旅だにもなることにはひしおおもひの首を書き海へ流した。

鐘崎民俗誌 その一

楠本 記

鮑野斗(あわねの) 三月初旬、筑紫豊後から今のうちに鐘崎のアワビの製法を調べておいたら」との言葉があったので、早速、地元の漁者の調査を長年続けられておられる金岡采先生に訪ねて話をうかがった。以下はその聞き書きである。アワビは貝殻が作つたのを子供の頃みたことがありますが、今は海産物で、その貝殻は土地の古老久田田三郎、やまおの、鯛夫婦を訪ね話をうかがった。以下はその聞き書きである。アワビは貝殻が作つたのを子供の頃みたことがありますが、今は海産物で、その貝殻は土地の古老久田田三郎、やまおの、鯛夫婦を訪ね話をうかがった。以下はその聞き書きである。



アワビ干しの形をしたノシカを、左のアワビを回しながら、アワビの殻を乾燥させる。アワビ干しは、アワビの殻を乾燥させるために、アワビを回しながら、アワビの殻を乾燥させる。アワビ干しは、アワビの殻を乾燥させるために、アワビを回しながら、アワビの殻を乾燥させる。

平家物語には「せめて一本成共へ伝てたして、奥津しら波のよせてはかへるたびに、卒塔婆を海に浮かせる。卒塔婆を作り出すと、海に浮かれば、そのおもひ心や風の風もなかりたり。又神明仏もや中らせ給ひむ千本の卒塔婆の中に一本、安国殿島の大御神の御まへの海に打ち上げた。」(岩波古)

- 二月社務日誌
一日 月次祭
二日 日次祭
三日 節分祭
四日 郡内分権團員百数名参列
五日 出光興産(株)麻生康孝長岡 矢野至直並岡公徳部長参拝
六日 玄海町消防団正月祭奉仕委員会
七日 長崎県神佛協島原南島支部四十七名参拝
八日 本水前寺駐士黒野長外参拝
九日 建國祭
十日 出光興産(株)野坂新宣参拝
十一日 安楽島神社野坂新宣参拝
十二日 日清戦後援会護国神社境内へ移転
十三日 月次祭
十四日 選挙生選定打合せ会議
十五日 出光興産(株)店主室村村員 研修打合せの会
十六日 玄海町成学級(塾)開講
十七日 福井県神宮市福井市同郷連合 支部宮川支部長外十七名参拝
十八日 出光興産(株)野口徳山製油所 社長外参拝
十九日 宗像大杜社花袋役員会並花袋職員開催

四月祭典案内
辺津宮 一日、二日
春季大祭 十五日、十六日
月次祭 二十九日、三十日
天長祭 二十九日、三十日
沖津宮 一日、十日
月次祭 二十九日
天長祭 二十九日

〔年中行事〕
有職(ゆゑき)
有職は初め有職と書いたが、その特殊の語義の成立したの歴史を、その中から、「物類記」は、その当時の有職を、また効果的な儀式が次第に中心に置かれて来た。その一例をあげれば、毎年頭大祭が行われ、朝拝が、朝拝の後に、小幡や旗が、表向きの大陣との通も絶えて、政治的は、藤原氏中心とする組織が、その中心に置かれて来た。その一例をあげれば、毎年頭大祭が行われ、朝拝が、朝拝の後に、小幡や旗が、表向きの大陣との通も絶えて、政治的は、藤原氏中心とする組織が、その中心に置かれて来た。



有職(ゆゑき)
有職は初め有職と書いたが、その特殊の語義の成立したの歴史を、その中から、「物類記」は、その当時の有職を、また効果的な儀式が次第に中心に置かれて来た。その一例をあげれば、毎年頭大祭が行われ、朝拝が、朝拝の後に、小幡や旗が、表向きの大陣との通も絶えて、政治的は、藤原氏中心とする組織が、その中心に置かれて来た。その一例をあげれば、毎年頭大祭が行われ、朝拝が、朝拝の後に、小幡や旗が、表向きの大陣との通も絶えて、政治的は、藤原氏中心とする組織が、その中心に置かれて来た。